

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間 2019年6月1日～2020年5月31日

発行日：2020年7月7日

株式会社 振興建設

目 次

1. 環境方針	1
2. 事業内容	2
1) 事業所名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び担当者	
4) 事業内容	
5) 事業の規模	
6) 対象範囲	
3. 活動組織	3
4. 環境目標	4
1) 環境目標値	
2) 環境負荷の実績	
5. 環境活動の取組計画と評価、 次年度の取組内容	5
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
7. 代表者による全体評価と見直し	11

1. 環境方針

【環境理念】

『地球環境への配慮と共存に努める』

当社の経営方針の一つであり、事業活動及び製品・サービスにおいて環境負荷の継続的低減に努め、地域住民への配慮、自然環境の保護を実施する為に必要な活動及び姿勢を明確にし実行します。

【環境方針】

1. 電力、化石燃料の消費に伴うCO₂排出量を削減します。
2. 長野県産業廃棄物3R実践協定の締結を実践します。
3. 事務用品のグリーン購入、資材のグリーン調達を推奨します。
4. 水資源の使用削減をします。
5. 環境関連法規等を遵守します。

以上、環境目標を設定し従業員に周知徹底させ、定期的に見直しを行い継続的改善に努めます。

制定日：2011年9月16日

改訂日：2017年5月31日

株式会社 振興建設

代表取締役 村山 泰弘

2. 事業内容

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 振興建設
代表取締役 村山 泰弘

2) 所在地

本社 長野県安曇野市豊科433番地8
中曽根機材センター 長野県安曇野市豊科高家4867番地1

3) 環境管理責任者及び担当者

責任者及び担当者 総務部長 長澤 奈美
連絡先 TEL 0263-72-3119
FAX 0263-72-3350
mail : shinkou@saturn.plala.or.jp

4) 事業内容

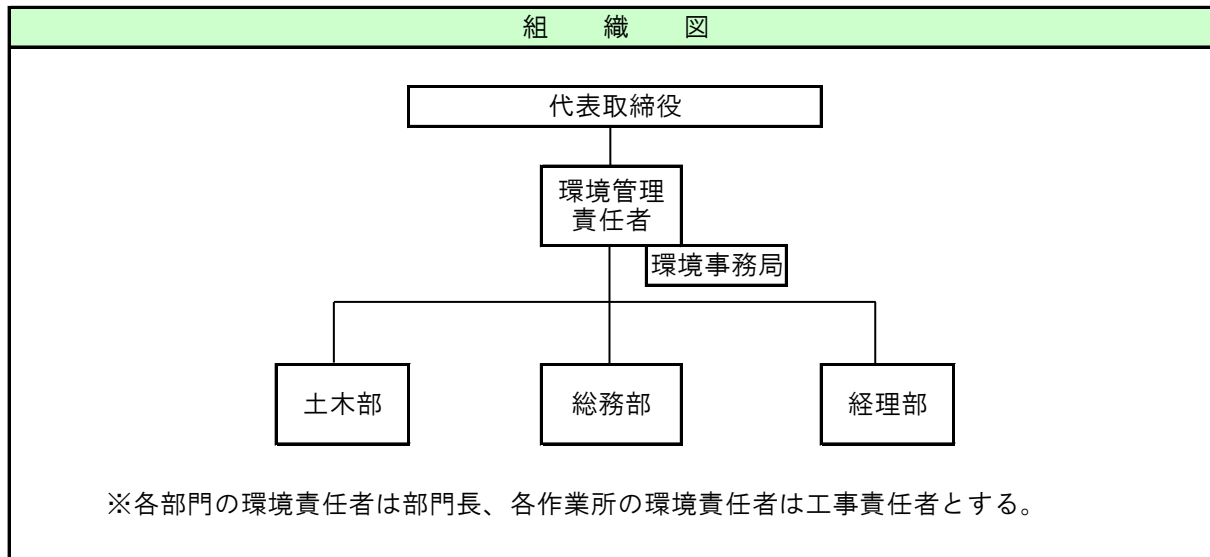
建設業 土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業
解体工事業

5) 事業の規模

売上高 445百万円（第52期 2019年6月1日～2020年5月31日）
従業員数 13名
本社床面積 749.51㎡

6) 対象範囲 全組織・全活動・全従業員

3. 活動組織



責任者	実施事項
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営システム運用のための人的資源・設備・技能・技術者並びに資金の確保 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境目標・環境活動計画書の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直しの実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築・運用・管理の責任者 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・ 環境目標・環境活動計画書の確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認 ・ 長野県産業廃棄物3R実践協定計画書、報告書の作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・ 環境経営システムに関する記録の管理 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境活動レポートの作成、公開
部門長・ 工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施担当者 ・ 自部門における環境方針の周知 ・ 自部門の部員に対する教育訓練の実施、記録の作成 ・ 自部門・作業所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門における緊急事態へのテスト、訓練を実施、記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針・環境目標の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的・主体的な環境活動への参加

4. 環境目標

1) 環境目標値

環境目標項目	単位	2016年度 (基準年)	2018年度 (基準年-0.5%)	2019年度 (基準年-1.0%)	2020年度 (基準年-1.5%)
電力(本社)	kWh	14,992.00	14,917.00	14,842.00	14,767.00
電力(センター)	kWh	4,611.00	4,588.00	4,565.00	4,542.00
ガソリン、軽油(現場)	L	52,154.18	51,893.41	51,632.64	51,371.87
ガソリン(事務所)	L	2,319.53	2,307.93	2,296.33	2,284.74
灯油	L	429.00	426.86	424.71	422.57
LPG	kg	1,316.02	1,309.44	1,302.86	1,296.28
CO ₂ 〔排出係数0.485kg-CO ₂ /kWh〕 (中部電力㈱2016年度数値採用)	kg-CO ₂	153,001.88	152,236.87	151,471.86	150,706.85
CO ₂ (売上高単位当り)	kg-CO ₂ /百万円	329	327	326	324
一般廃棄物	kg	94.11	93.64	93.17	92.70
産業廃棄物	t/百万	—	4.80	4.80	4.80
事務用品グリーン購入	%	70.00	70.00 (基準年+0.5%)	71.00 (基準年+1.0%)	72.00 (基準年+1.5%)
水道水	m ³	98.00	98.00	97.00	97.00

2) 環境負荷の実績

活動期間(2019年6月1日~2020年5月31日)の実績

目標値は基準年に対して-1.0%

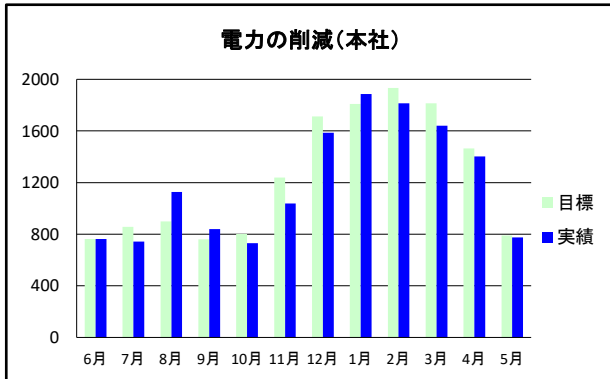
環境目標項目	単位	目標値	実績値	対目標比率	評価
電力(本社)	kWh	14,842.00	14,345.00	97%	○
電力(センター)	kWh	4,565.00	3,899.00	85%	○
ガソリン、軽油(現場)	L	51,632.64	42,923.20	83%	○
ガソリン(事務所)	L	2,296.33	2,257.25	98%	○
灯油	L	424.71	359.00	85%	○
LPG	kg	1,302.86	1,343.61	103%	△
CO ₂ 〔排出係数0.485kg-CO ₂ /kWh〕 (中部電力㈱2016年度数値採用)	kg-CO ₂	151,471.86	128,536.55	85%	○
CO ₂ (売上高単位当り)	kg-CO ₂ /百万円	326	289	89%	○
一般廃棄物	kg	93.17	86.44	93%	○
産業廃棄物	t/百万	4.80	4.11	86%	○
事務用品	%	71.00	58.00	82%	×
水道水	m ³	97.00	100.00	103%	△

5. 環境活動の取組計画と評価、次年度を取組内容

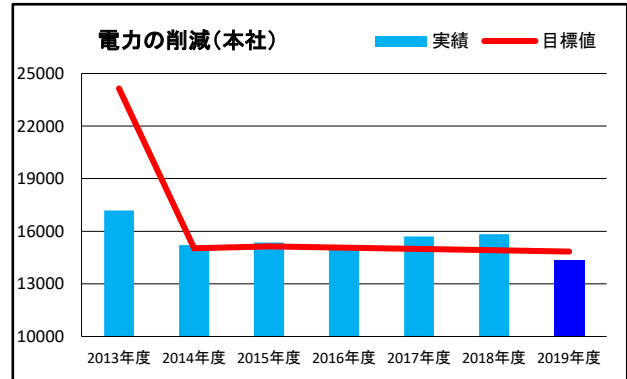
取組計画	評価	達成状況	次年度を取組内容
【電力の削減（本社）】 ・昼休み、不在時の消灯 ・夜間、休日はパソコン等のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○ ○ ○	今年度は冬期の節約が大きく、目標達成できた。また、事務所照明をLEDに交換した。	次年度は冷暖房の適正化積極的に取り組む。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



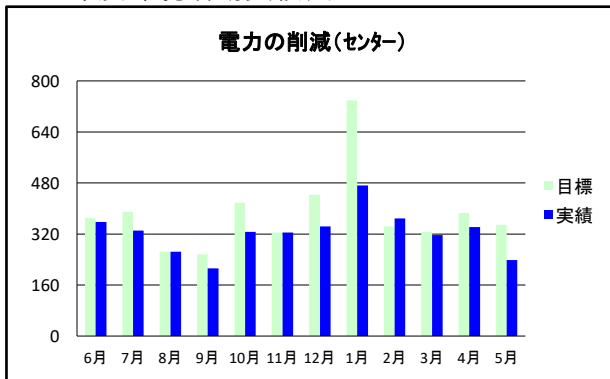
年度比較表



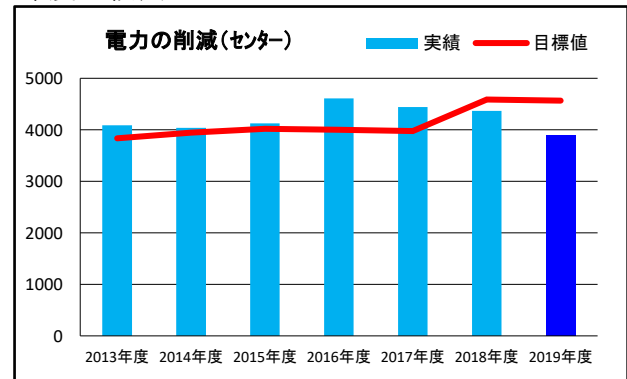
取組計画	評価	達成状況	次年度を取組内容
【電力の削減（センター）】 ・昼休み、不在時の消灯 ・不在時のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○ ○ ○	目標達成できた。月別の実績も目標値内で推移したので、取り組み成果がでている。	次年度も節電に重点をおき取り組む。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



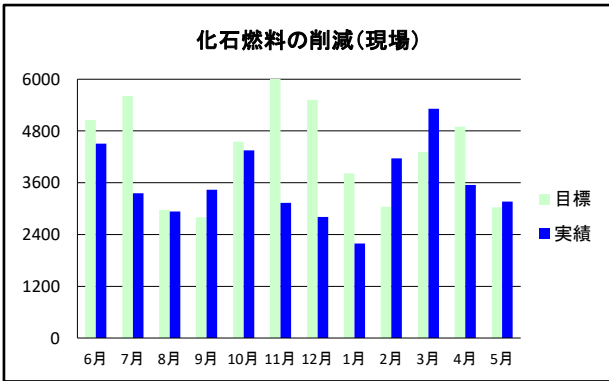
年度比較表



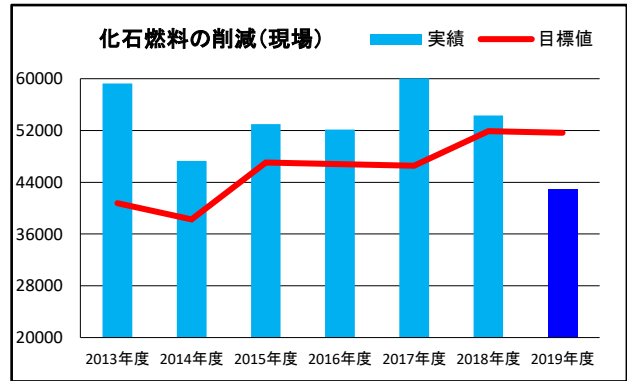
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【ガソリン、軽油の削減（現場）】 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速、空ぶかしの防止 ・冷暖房の控えめ使用 ・建設機械等の作業停止時のエンジンストップ ・相乗り乗車の推進 ・休祝日の社有車の使用禁止	○ ○ ○ ◎ ○ ◎	今年度は目標達成できた。作業終業時の点検が確実に行われ、達成することができた。	次年度もエンジンストップに重点をおき取り組む。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



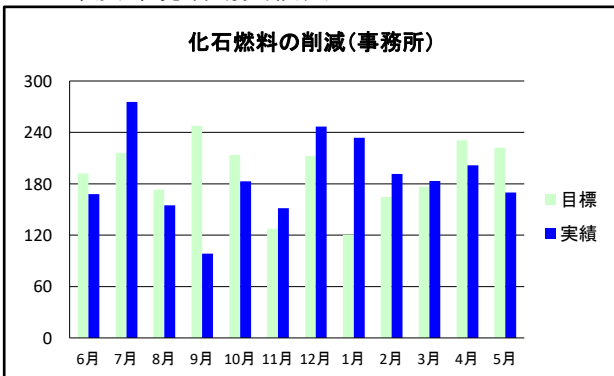
年度比較表



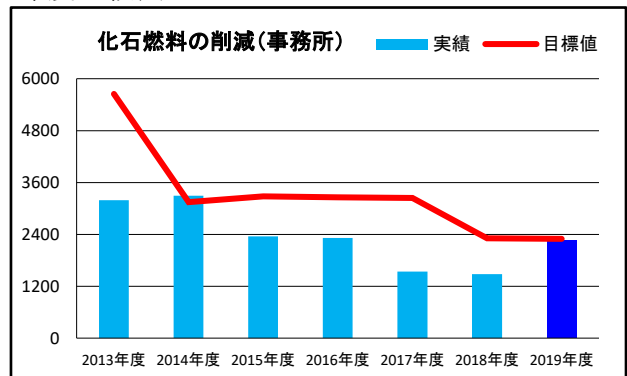
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【ガソリンの削減（事務所）】 ・アイドリングストップ ・急発進、急加速の防止 ・冷暖房の控えめ使用 ・休祝日の社有車の使用禁止	△ ◎ ◎ ◎	月毎のバラつきはあるものの、目標達成することができた。	引き続きエコドライブを実践していく。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



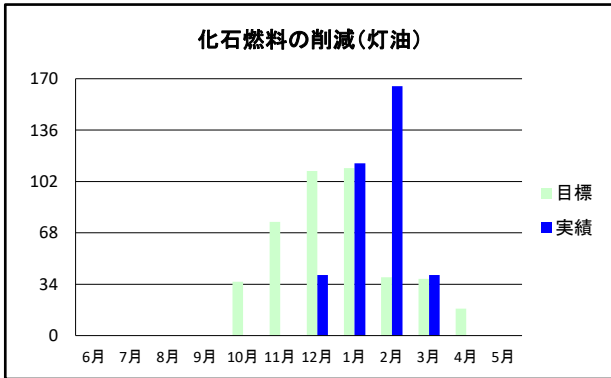
年度比較表



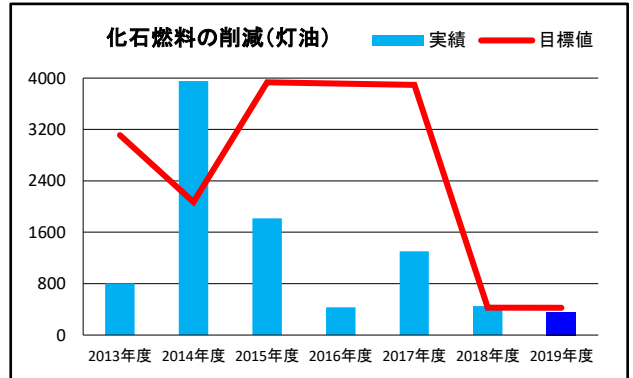
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【灯油の削減】 ・暖房の適正化（暖房20℃） ・現場では施工方法や作業方法の見直し	△ ○	目標達成することができた。	引き続き現場での施工方法の見直しで削減していく。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



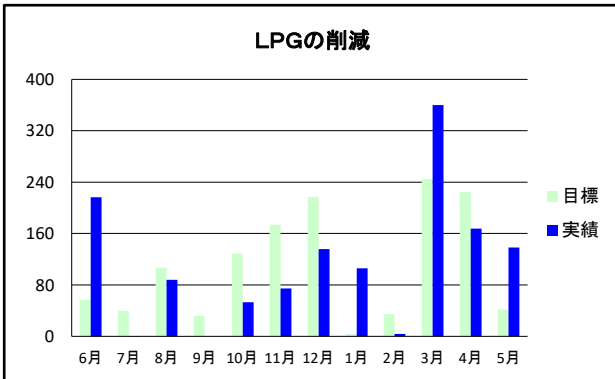
年度比較表



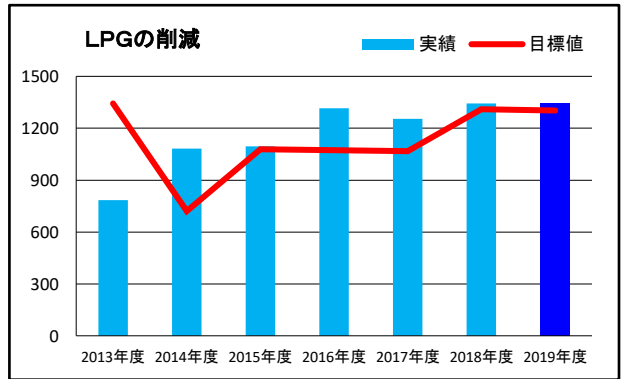
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【LPGの削減】 ・LPGの節約 ・給湯器の適温使用 ・現場では施工方法や作業方法の見直し	○ ◎ ○	結果は未達成であるが、施工方法の取り組みは実践されている。	現場では施工方法、事務では適温使用を取り組む。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



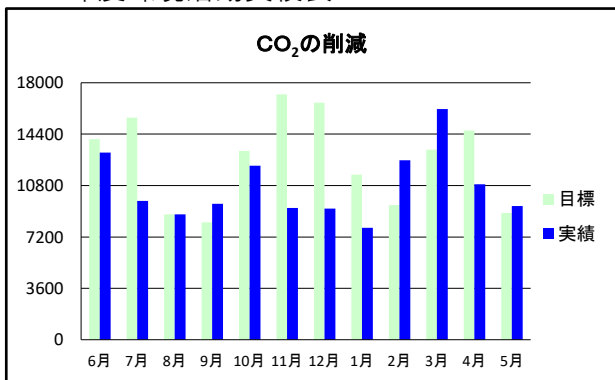
年度比較表



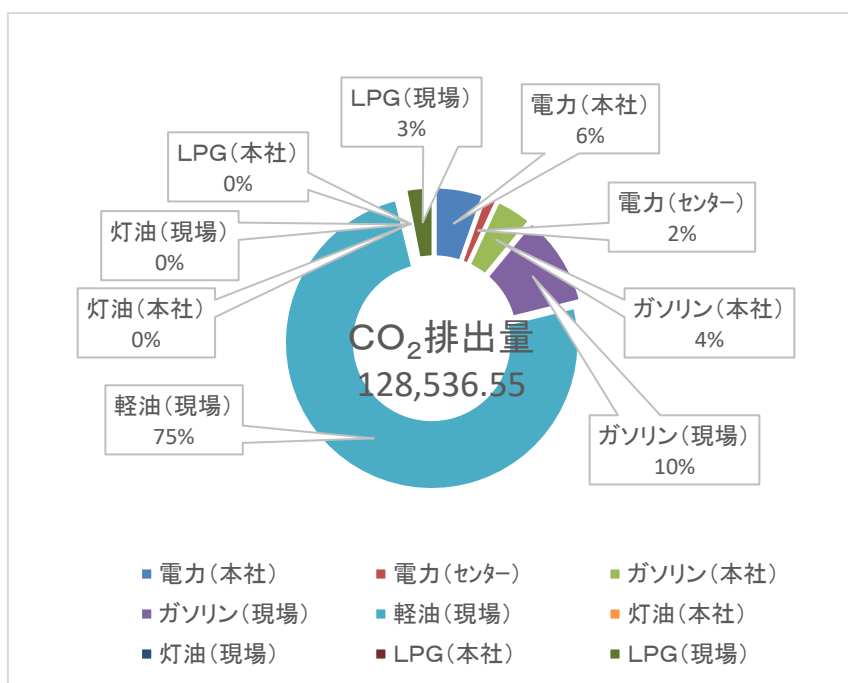
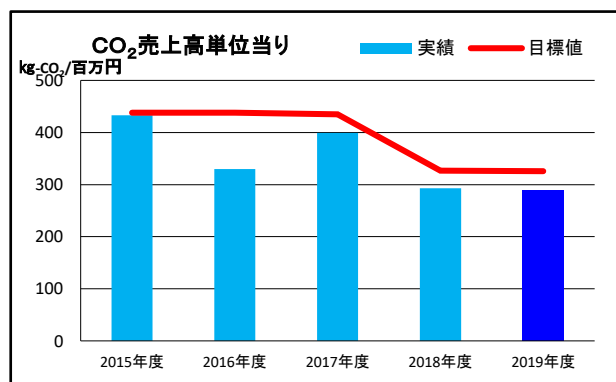
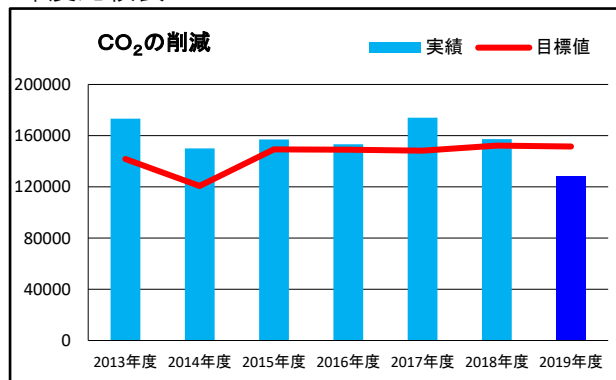
【CO₂の削減】

今年度はCO₂排出量削減が達成できた。取り組みが結果に反映されてきたので、継続していきたい。売上高単位当りも昨年同様の結果が出ているので、工種により結果に変動があると思うが、CO₂排出量の内訳のように軽油が大半を占めているので、削減の取り組みに重点をおき実践していく。

2019年度環境活動実績表



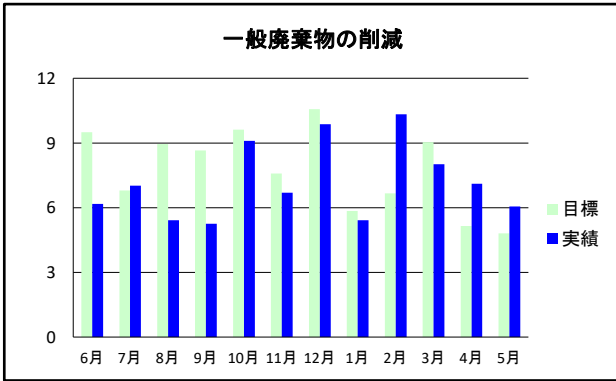
年度比較表



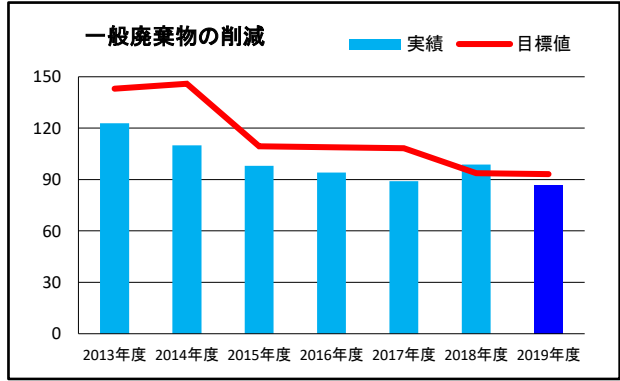
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【一般廃棄物の削減】 ・裏紙利用、両面印刷、集約印刷の徹底 ・社内LAN利用による会議資料のペーパーレス化 ・再資源化物との分別徹底	○ ◎ ○	裏紙利用や一般廃棄物の分別徹底により、目標達成できた。	引き続き、削減に取り組む。
【産業廃棄物の削減】 ・廃棄物の分別と再利用の徹底 ・廃棄物の適正処理	◎ ◎	目標達成できた。	引き続き、分別と適正処理に取り組む。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



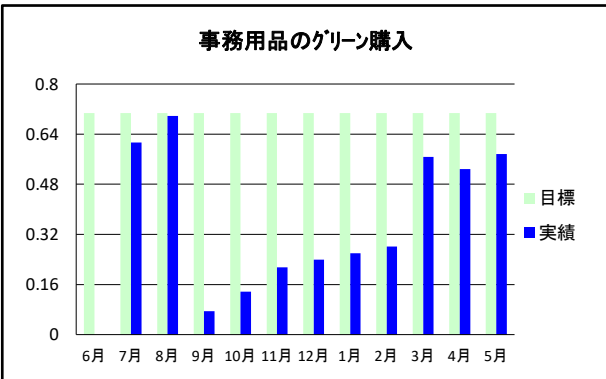
年度比較表



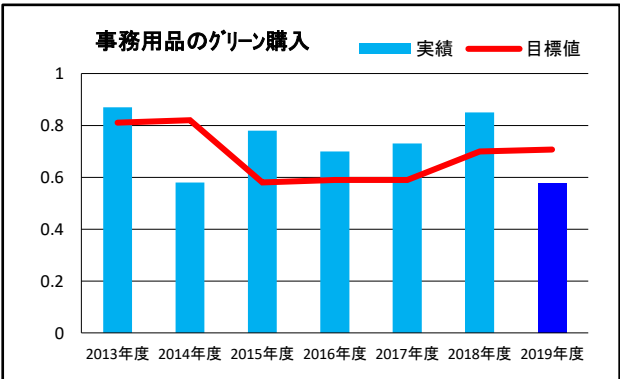
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【事務用品のグリーン購入】 ・グリーン購入の拡大	○	今年度は特別なものがあり、グリーン商品では対応できなかった。	引き続き、積極的にグリーン購入に取り組む。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



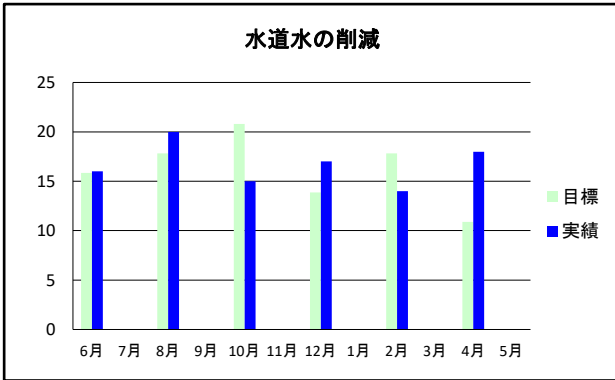
年度比較表



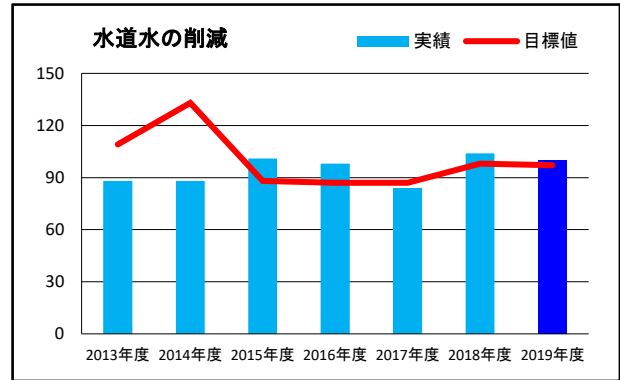
取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【水道水の削減】 ・水道水の節水 ・水を出しっぱなしにしない ・現場では用水の積極的利用	○ ○ △	未達成となり、節水の取り組みが足りなかった。	次年度は積極的に節水に取り組みたい。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2019年度環境活動実績表



年度比較表



取組計画	評価	達成状況	次年度の取組内容
【会社周辺の清掃】 ・年度始に会社周辺のクリーン作戦実施	◎	地域のボランティア活動へ全員参加で取り組んだ。	継続していく。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は下記の通りです。

法規制等の名称	当社に適用される要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託	遵守
	マニフェストの交付、保管、報告	遵守
建設リサイクル法	対象工事の届出、再資源化等の実施、報告	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	対策型建設機械の使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	適応建設機械の使用	遵守
騒音規制法	対象特定作業の届出	期間中該当なし
振動規制法	対象特定作業の届出	期間中該当なし
消防法	第4類危険物の指定数量	遵守

環境関連法規等の遵守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認致しました。

また、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し

今期の活動を振り返ると、昨年度より工事完工高が増えている中で、特に未達成の項目で目立ったものはないと思う。

達成できた項目については今後も継続していき、未達成項目については、原因を調査して今年度の目標に取り入れてほしい。

ガソリン、軽油(現場)の増加は、完工高・遠い現場の増加で増えるかもしれないが、その中でも最小限の車両数と、乗り合わせの実施を行ってほしい。

水道水については、現場で使用するローラータンク水、夏場の舗装温度低下用水は水道水をなるべく使用せず、用水路からポンプで汲み上げて使用する。

本年度も特に、エコドライブ・重機アクセル8割の意識をさらに根付くように、今後も取り組んでいきたいです。

2019年6月29日

代表取締役 村山 泰弘